



長野県 白馬村

総務課からのお知らせ 令和7年7月30日

大気中のCO₂から燃料となるメタンガスを作り出す、白馬村にて実証実験中の変環トレーラーハウスを大阪・関西万博「わたしとみらい、つながるサイエンス展」に出展します。

東海国立大学機構名古屋大学「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー開発拠点」(以下、変換共創拠点)は、長野県北安曇郡白馬村(以下「白馬村」)にて実証実験中のCO₂から燃料となるメタンガスを作り出す「変環トレーラーハウス」を、大阪・関西万博のテーマウィークプログラムとして文部科学省が主催するに「わたしとみらい、つながるサイエンス展」に出展します。出展期間は8月14日(木)から8月19日(火)までです。

1. 背景

変環共創拠点は「消費から“変環”へ」をビジョンとして掲げ、市民自らが資源・エネルギーを生み出す“変環社会”を目指す活動を行っています。また、白馬村は、地元高校生による「グローバル気候マーチ」をきっかけに積極的な環境施策を進め、令和6年に、2030年に向けた環境アクションプラン「白馬村ゼロカーボンロードマップ」を策定しています。このような背景の下、白馬村と名古屋大学は令和6年4月に連携協定を締結し、協定に基づく取組として、大気中のCO₂を回収して燃料となるメタンガス(CH₄)の生成・活用を目指す「変環トレーラーハウス」の実証実験を白馬村ジャンプ競技場周辺にて行っております。

2. 概要

変換共創拠点は、来場者が変環拠点の取組を学び、拠点が目指す未来ビジョン「無理なく、楽しく、資源・エネルギーを共創する社会」のイメージを感じていただけるよう、白馬村で実証実験を進める変環トレーラーハウスの展示を行います。

1. 期 間: 令和7年8月14日(木)～8月19日(火)
2. 開場時間: 午前10時～午後7時30分(最終日は午後6時)
3. 場 所: 万博会場内 EXPOメッセ「WASSE」イベントホール 北側
「わたしとみらい、つながるサイエンス展」内

(裏面へ)

白馬村



白馬村キャラクター
Victoire
Cheval Blanc
Murao III

白馬村役場 総務課

(課長) 田中 克俊 (担当) 田中 元気

電 話: 0261-72-7002 (直通)

F A X: 0261-72-7001

E-mail: kikaku@vill.hakuba.lg.jp

3. 出展内容

出展では、これまでただ捨てられるだけであったCO₂を回収・資源化する変環トレーラーハウスの取組を学ぶことで、来訪者が拠点の取組に興味を持ち、身の回りの未利用エネルギー・資源に対する新たな視点を持っていただけるよう、次の3つの展示を行います。

(1) 変環トレーラーハウスの見学・紹介

白馬村で実験を行っているトレーラーハウスと格納している装置群を共に展示し、実証実験の取組とCO₂がメタンガスに変換されるしくみを紹介します。

(2) 実証実験の説明模型(プロジェクションマッピング)の展示

変環トレーラーハウスでの実証実験と白馬村との関わりを説明し、変換共創拠点が目指す未来「無理なく、楽しく、資源・エネルギーを共創する社会」をイメージできる展示を行います。

(3) CO₂について学ぶ科学教室「サイエンスアカデミー」

私たちの身の回りにありふれた物質のCO₂、その性質と活用方法を大学生(名古屋大学博物館学生スタッフ団体MusaForumメンバー)との体験学習を通じて学ぶことができる科学教室を実施します。



問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 変環共創拠点事務室
TEL: 052-789-5826

Email: adm.henkan@mirai.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学は、国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

東海国立大学機構HP <https://www.thers.ac.jp/>

